

第3回 蒲郡市公共施設のあり方検討市民会議 概要

- 1 日 時 平成27年7月10日（金）午後1時開会・午後4時閉会
2 場 所 蒲郡市役所3階303会議室
3 会議参加者 ファシリテーター 恒川和久

委員

天野忠則	水野志乃	早川康子	高柳幸枝
村松敏夫	高田 稔	坂部三智	鈴木康祐
加藤晃祥	本多英夫	遠藤朋志	星野有美
尾崎佳奈			

4 次 第

① 本日の会議内容説明

ファシリテーターより本日の会議進行方法と今後の会議の見通しについて説明。

② 公共施設のあり方に関するアンケート結果について

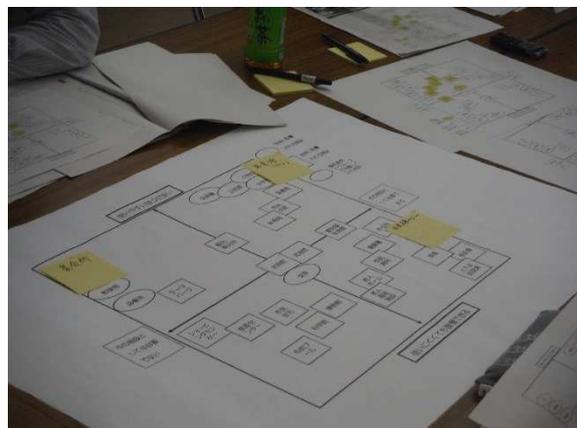
市が行った公共施設のあり方に関するアンケートの速報結果を資料に沿って説明。

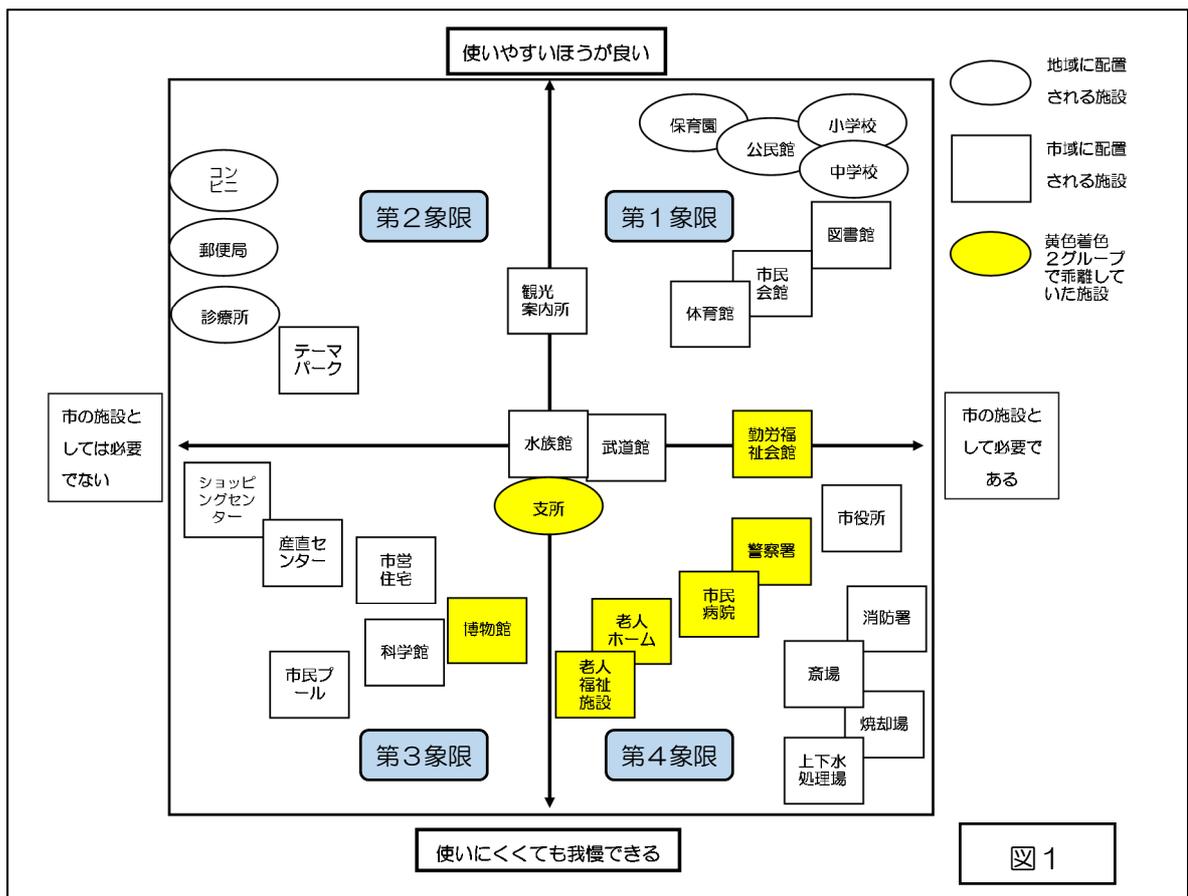
（資料1）

③ グループワーク 「公共施設のあり方を考える」

第2回目の会議と同様にAとBの2つのグループに分かれて「公共施設のあり方」についてグループ内で議論し結果の発表を行いました。

議論は前回の会議で議論された4象限図（図1参照）を元に進め、各象限ごとの施設についてあり方を議論しました。





グループワークでは下記の5つのSTEPに別けて議論が行われました。

- STEP1** 前回のグループワークの振り返り。
公共施設は住民にとってどうあるべきかが議論された前回の結果を再度振り返りました。
- STEP2** 図1の第1象限に含まれる施設について施設のあり方の議論が行われました。
 - ・どうすれば効率的な運営ができるか。
 - ・もっと便利な施設にするためにはどうしたら良いか。
- STEP3** 図1の第2、第3象限に含まれる施設について施設のあり方の議論が行われました。
 - ・将来の負担とならないような運営方法。
 - ・公共サービスが市の施設で提供されなければならないのか。
- STEP4** 図1の第4象限に含まれる施設について施設のあり方の議論が行われました。
 - ・どうすれば効率的な運営ができるか。
- STEP5** グループワークの議論を踏まえて重要だと思った事など、施設のあり方に対する意見を各委員に発言して頂きました。

グループワークで議論され出された意見（2グループの意見のまとめ）

<p>STEP1</p>	<p>前回は振り返って出された意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 勤労福祉会館は福祉に関わる施設なので図の中でもっと便利な位置にあって欲しい。 ・ 公民館は地域のコミュニティーとして機能して欲しい。 ・ 市民会館のホールは2つもあって大ホールは市の規模からして過大規模だと思う。大ホールと中ホールの間規模のホールが1つで良い。 ・ 蒲郡は無料の施設が多すぎる。他の市に行くと利用団体によって減免はあっても無料はほとんどない。
<p>STEP2</p> <p>第1象限 ①どうすれば効率的・便利にすることができるか</p>	<p>地域に配置される施設</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園、小学校、中学校、公民館などは現在の利便性が確保されるべき。 ・ 名鉄沿線に施設を配置するなど便利に使えるようになれば名鉄利用促進にもつながる。（市域に配置される施設でも同じ） ・ 管理上の問題は考えなければいけないが、学校と公民館などがうまく連携すれば便利な施設ができそう。 ・ 中学生や高校生が学習できる場所を地域の施設に設置できれば利用したくなる。学生は学習の場所が欲しい。 ・ 児童クラブの数が足りない。学校内に設置して便利にできないのか。6年生まで入れる規模の児童クラブを各小学校に配置して利便性をあげるべき。 ・ 小学校は1学年2クラス以下しかない学校が多く規模が小さい学校ばかりで将来を考えなくてはいけない。 ・ 将来を見据えることも踏まえて小学校は統廃合する時期になっているのではないか。 ・ 小学校と中学校を合わせて小中一貫校も考えられる。 ・ 保育園は非常時の避難のためにも小学校や中学校などに隣接するなど配置的に配慮出来れば良い。
	<p>市域に配置される施設</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民会館、体育館等は規模を縮小するなど、大きさを考えて複合施設にする。 ・ 市民会館と図書館などは複合化すれば効率的で便利になるのではないか。 ・ 大型施設には駐車場が整備されていないと不便。体育館は駐車場が少なく不便だ。公共交通があれば駐車場が少なくても良いという社会ではないので大型施設に駐車場の整備は絶対必要。 ・ 生きがいセンター、勤労福祉会館は似ているので統合できるのではないか。 ・ 使用料を無料にすると本当に使いたい人が使えなくなるので使用料は考えないといけない。

<p>STEP 3 第2象限 第3象限</p> <p>具体的な施設の今後のあり方</p>	<p>①市の施設として必要でないと思見があった施設</p>		市営住宅
			市民プール
			博物館
			科学館
			観光案内所
	<p>②具体的な施設の今後のあり方に対する意見</p>		博物館 科学館
		市営住宅	<ul style="list-style-type: none"> 老人用のアパートになってしまっていないか。 空き家を利用する方法も考えられる。 民間のアパートを借り上げるなどの方法でサービス維持を考えていけるのではないか。 県営住宅とのバランスを考えて削減ができないか。 サービスを廃止するのではなく、施設を保有することを避けて将来負担を減らすことを考えるべき。
		老人ホーム、老人福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> 100%民間で出来るとは言えない部分もあるが、民間で出来るサービスなので、市が施設を保有してまでサービスを供給する必要がないのではないか。
		水族館	<ul style="list-style-type: none"> 水族館と科学館は展示している系統が似ているし統合すればもっと魅力がますのではないか。
		市民プール	<ul style="list-style-type: none"> 新しく施設をつくる必要はない。 新しく作るより、近隣にあるプールを利用することや、ラグナシアのプールを安く利用できる方策にお金をまわして考えたほうが良いのではないか。 幸田、西尾のプールに定期バスを運行できないか。
<p>STEP 4 第4象限</p> <p>どうすれば効率的な運営ができるか。</p>	<p>運営を効率化する具体的な方法の意見</p>		<ul style="list-style-type: none"> ライフラインの施設など住民があまり利用しない施設は広域化で効率化ができるのではないか。 行政改革を進めて事業の効率化をはかるべきではないか。 PFI 事業などで民間資金を活用して効率化ができないか。

<p>STEP5 議論を通した各委員の意見</p>	<p>施設のあり方に対する各委員の意見。 (全委員の発言を掲載しているため、内容が重複する場合があります。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 各施設は税金で作られている。税金を無駄にしないようにするためにはどうしたら良いかを考えることが大切だと思う。いろんなところに分散した施設を複合や統合などで効率的な施設を考えて行かなければならない。 • 人口8万人の市だということを良く理解して身の丈以上の施設にしてはならない。 • 高齢者が外出するきっかけになる施設や気軽に使える施設がこれからは必要になる。高齢者の外出を促進することは健康維持や交通事故の減少など効果があるので考えて欲しい。 • 公共施設全体で考えると、統廃合をしていかなければいけないと思うが、お金だけの効率だけでなく地域性を考えた魅力ある施設づくりをして欲しい。 • 蒲郡市が公共サービスに必要な施設全てを持つ必要はないと思う。近隣他市の施設を利用しやすくするなどの施策で施設の保有を避けることは必要な事だと思います。 • 魅力のある施設を作ることが必要。それによって利用者の増加に繋がると思う。 • 今ある施設を考えながら統合していけるところはして行けば良い。 • 名鉄電車の存続の為に名鉄沿線に施設を意識的に配置するなど、特に中高生の利用する図書館や体育館を設置すれば名鉄利用者の増加に繋がると思う。 • 小中学校の開放を考えて、地域の施設として公民館的に利用できるといいと思いました。 • 豊橋の前芝小中学校が統合したというニュースがありました。なかなか学校の話は体力のいる仕事だとは思いますが、必要に迫られている状況であると思いますので計画的に学校統合を進めて行くべきだと思います。 • 事業のPFI化や広域連合で協力するなどの考え方は面白いし、これからの人口減少の中では必要な考え方だと思う。 • 全ての公共施設に共通して言えることとして、規模を大きくする必要はない。どちらかといえば全体的に小さめにして、施設を複合化し、利便性の良いところに配置する事によって利用者の増加を考えたほうが良いと思います。 • 名鉄とJRを利用する生活をしているが蒲郡駅で待ち時間をつぶす場所がない。その様な時に例えば近くに図書館などがあれば利用しやすいし、駅周辺の便利な場所に施設を配置して欲しい。 • 社会的なサービスに対して住民が満足することはないという経済学者がいたことを思い出しました。サービスをどんどん肥大
-------------------------------	--	--

		<p>化させるのではなくて、少し我慢することも必要なのではないのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none">• PFIなどの民間資金の活用でイニシャルコストを削減する手法は取り入れて行かなければならない。• 博物館が資料の展示以外に文化財の保存もしている事を知りました。他にも勤労福祉会館がどんな施設なのかあまり知られていない事も実感しました。施設が何のためにあるのかを良く理解してもらうことが必要だと思います。• 蒲郡は住むには最高な場所だと思うので若い人を定住させるなどもう少し頑張ってもらいたい。• 蒲郡の中は点になっている。文化、観光、体育など点で存在しているの、点と点で手を繋いで頑張ればもっと良くなると思います。• 10年、20年先の蒲郡の状態をイメージして考えること、その上で施設を単独で考えるのではなく特化する事、広域化する事、統廃合することは考えて行かなければいけない。• 小中学校の統廃合は自分としては自分が卒業した学校がなくなると思うと反対したくなるが、これから先の子供の数の変動を考えるとそうは言えなくなる。学校は地域の施設なので地域に必要な他施設と合わせて考えて存続できなのかと考えてしまう。• 人気のない施設にも必要とされる機能があったりするので、複合化などでその機能を残すなどして考えて欲しい。• 公共施設のあり方に関するアンケートの結果は市税を払っている人の意見はどうかのクロス集計を見たい。• 公共施設のあり方に関するアンケートを見ると新たな公共施設への投資をすべきでないという事が読み取れる。また、財産の売却をすべきという意見は財政を健全化しなさいと言われていたという事だと思う。• 施設のメンテナンスをしっかりとって欲しい。公共施設は住民が利用する施設なのだから維持をしっかりと行う必要がある。• 公共施設のあり方に関するアンケートの結果からサービスや施設の内容が充実していれば利用者に利用料を負担させても良いということが読み取れる。これからの公共施設はその様な方向で考えていく必要があると思います。• 第1象限に含まれる施設の統廃合を考えていくにあたっては、「ついでに何かできる」を考えて欲しい。ついでに本を借りられる、ついでに住民票が発行してもらえなど便利な施設になれば利用者も増えると思います。そのための人件費増などは工夫する事で解決できる。
--	--	---

		<ul style="list-style-type: none">• 第2、第3、第4象限の施設を考えるには1つ目に本当に市に必要なサービスなのかを考えるべきだと思います。必要のないサービスなら完全に民間に任せるとか、他市施設の利用を促すことで考えられるし、広域的設置も考えられると思います。2つ目に市が建物の所有をする必要があるかについて考えるべきだと思います。これから先も所有する必要がなければ民間施設を借り上げて市がサービスを提供すれば良い。そうでなければ今ある施設を利用し民間委託などでサービスを提供する方法が考えられる。• 何かに特化した特長のある施設作りも重要ではないか。• 市民プールがなくなったときは残念だったが、施設について議論していると皆さんの意見は蒲郡には必要ないという意見が多くて少し驚いた。例えば学校の統廃合についても同じで反対意見はたくさん出ると思うが少し不便になってもそれはそれで何とかなくなっていくのではないかと感じています。
--	--	--

第3回蒲郡市公共施設のあり方検討市民会議の概要として確認をしました。

ファシリテーター 署名
